

令和 8 年 10 月 1 日

8月の豪雨に続く台風25号の影響により、連日浸水のニュースが流れておりますが、皆様のお住いの地域はご無事でしょうか。

さて、最近の雨続きで、体がだるかったり頭痛がしたりする方はいませんか？ それは気圧の低下で自律神経が乱れる「気象病（天気痛）」かもしれません。実際、たけのこにも「頭が痛くなってきたから、そろそろ天気が悪くなるかも……」と、天気の下り坂をピタリと言い当てる職員がいます。



実は大人だけでなく、子どもも気圧の変化で脳や体が疲れやすくなります。「うちの子、雨の日になると機嫌が悪くなるなあ」と感じている保護者の方はいませんか？ 雨の日にくずったり、癇癪を起こしたり、普段できることができなくなったりするのは、わがままではなく「頑張るエネルギー」が空っぽになっているサインかもしれません。子どもは身体を動かして気持ちを整えます。発達心理学でも運動は情緒の安定につながると言われています。そこで雨の日でも、家の中でお子様と一緒にできる発散法をいくつか紹介します。

体を動かす遊び：動画を見ながらダンス、風船パレー、タオル綱引き、バスタオルそり、かくれんぼ、基礎運動（ハイハイや手押し車など）



手先を使う遊び：折り紙、切り紙、お絵描き、粘土遊び（意外と集中できます）

たけのこでも、雨の日は室内でサーキットや達二先生の運動教室を行い、雨の合間には外へ出かけます。

もうすぐ長雨も明け、心地よい秋晴れがやってくるはずです。最近では寒暖差で体調を崩しやすいばかりかインフルエンザも流行しています。「しっかり食べて、しっかり寝る」を意識して、元気にこの季節を乗り切りましょう！

●●●10月の主な予定●●●



月	火	水	木	金
9/28	29	30	1	2
5	6	7	8	9
12 スポーツの日	13 避難訓練	14	15 避難訓練	16
19 誕生会週	20	21	23	23
26	27	28	29	30

※芋ほりを計画しています。

●●●11月の主な予定●●●



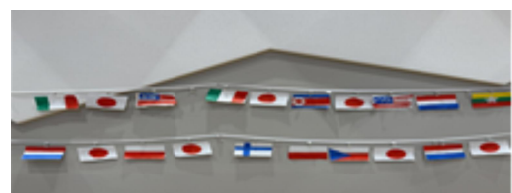
9日(月), 11日(水), 13日(金)	避難訓練	16日(月)～	誕生会週
-----------------------	------	---------	------

※幼稚園行事への交流参加も予定しています。

※行事予定は変更する場合があります。



こあら組はフルーツをクレヨンで塗りました。



きりん組は国旗を作りました。自分でどの国旗にするか選びました。

交流保育を行っています

たけのこではこれまで、きりん組とこあら組に分かれて集団保育を行ってきました。こあら組の年中児においては、きりん組と普段の子どもたちの遊び方や各年齢の子ども集団の様子から、お兄ちゃん、お姉ちゃんである年長さんと交流しながら刺激を受けることが成長につながると考え、支援の一つとしてきりん組との交流保育を行っています。

欠席・遅刻・早退について

保護者からの連絡を入れていただく場合に、HUG（施設への連絡）にてお知らせいただいておりますが、バス利用の方で当日のご連絡の場合は8:10までお願いいたします。たけのこではアプリの確認後、バスの出発&職員打ち合わせとなります。なお、欠席については、欠席理由を詳細にお知らせください。職員が確認し次第返信させていただきます。

10月は市内にイベントがいっぱい！ 出かけてみませんか？

10月は各地でたくさんのイベントが計画されています。流山市でも、3日（土）の花火大会、11日（日）産業博、25日（日）市民まつりをはじめ、コンサートや図書館での企画などもあります。秋の爽やかな休日に親子で出かけてみてはいかがでしょうか。



今月のコラム



今年度年少の頃に担当していた年長児と久しぶりに関わり、2年間の成長を改めて実感しました。2年前、1月から産休に入っていたため年中の頃の成長を直接見ることはできませんでした。当時の姿を知っているからこそ、今の姿を見て驚くことが多くあります。

例えば基礎運動。2年前は動き方が分からなかったりマットで待つこともできませんでした。マット7枚動くことが大変で、手押し車では体勢を取るのが精一杯。またごめんねと謝る言葉が言えなかったり、会話がうまくできず友だちと遊べない子も沢山いました。しかし2年が経った今、子ども達をみていると基礎運動も自分から進んで行うことができるようになり、言葉で思いを伝えて一緒に遊べるようになった子もいます。こあら組の子達も入所して半年が経ち同じように成長をしている姿が見られます。これはあくまでも一部の場面に過ぎませんが、沢山の成長に気づくことができました。こうした成長はある日突然できるようになるものではありません。日々の遊びや生活の中での一つひとつの積み重ねが今の姿になっているのだと思います。

たけのこではその時の「できる・できない」だけを見るのではなく、以前の様子と比べてどんな変化があったのか、子ども達の小さな成長にも目を向けることを大切にしています。久しぶりに子ども達と関わる中で、私自身も「成長を見つける」という視点の大切さに改めて気づきました。毎日一緒に過ごしていると気づきにくい小さな変化も、振り返るとその子らしい大きな一歩になっていることがあります。つつい目先のことばかりになってしまい、一喜一憂してしまいがちですが、時には原点に戻ってお子さんの成長を見つめ直すことも大切なことかもしれませんね。

保育士 沢井 絵里香

